

福井県議会議員山本建の『ぎかいふんとうき』

県政報告 Ken's report

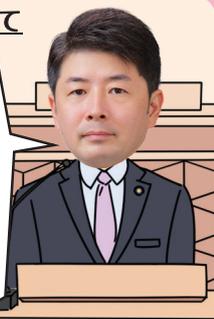
議会奮闘記



～12月議会編～

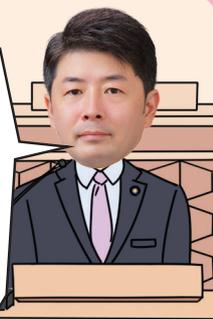
●ハピラインふくい（並行在来線）について

新幹線が来たから鯖江駅周辺が衰退してしまったと
ならず**新幹線が来たこと**によって**鯖江駅や周辺地域も賑わってきた**となることがなにより重要です。既存駅のテナントが空きテナントとならないように引き続きの継続や誘致営業について指摘をさせて頂き基本的に営業を継続する意向との事でしたが、JRサービスネットが運営している**鯖江駅のコンビニが撤退**する方針と伺いました。経営移行後もJRと継続した協力関係が必要と思いますが、**鉄道経営移行後のJRグループ各社との協力体制**についての協議状況は？



●有機農業の普及促進について

現在、1%未満の全農地に占める有機農業の割合を25%まで拡大するという国の方針は、2050年と先の話に見えますが、今からでも少しずつ取り組みを進めていかなければならないと考えます。課題となっている**高い栽培技術の確立と担い手の知識向上**も必要です。本県では園芸カレッジだけでなく、県立大学の創造農学科など農業栽培技術の向上や担い手を育成する機関がありますので、有機栽培に関する特別講座を一般公開で実施するなど少しずつ担い手の知識向上に向けて取り組みを進めてはいかがか？



JRグループ各社は、駅舎内の営業だけではなく**安全・安定運行の確保や、経営改善に寄与する**ような事項について、そのノウハウを活用するため協力を求めていきたい。鯖江駅構内のコンビニは、残念ながら撤退したいとJRの方から申し出があった。現在、市やJRグループ各社とともに、駅舎の空きスペースの活用などについて検討を進めている。
鯖江市は、駅東口改札の新設や西口既存駅舎の機能強化、東西を繋ぐ自由通路の整備など、**利便性の向上や駅周辺の賑わいづくりを図る再整備を検討中**であり県としては、必要な助言、支援を行ってまいりたいと考えてございます。

<地域戦略部長>



有機栽培技術の向上については、有機栽培用の肥料や水田の除草に併せ水田除草機などの開発と普及を進めてきた。また、雑草を抑える土づくりや雑草管理をテーマとした**有機栽培や特別栽培の研修会を開催**し、例年多数の農業者の方に参加頂いている。園芸カレッジでは、農業に新規参入する方を対象に農業や化学肥料を適正に使った栽培方法を指導し、県立大学では、今年度から創造農学科の学生を対象に有機農業に取り組む方を講師として講義を開始した。まずは県職員の育成を始めて、今後、**有機農業などに意欲的に取り組む農業者の指導体制を整えて栽培技術の向上や担い手育成を進めてまいります。**

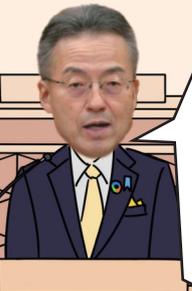
<農林水産部長>

ハピラインふくいは基本理念にもある通り、**地域に密着した県民鉄道**へと一新し、地域振興の向上を図っていかねばなりません。地域の人々に愛され、地域外からこれらの方々に地域の特色を理解していただくことも重要と考え、例えば鯖江駅を「めがねのまちさばえ駅」とPRするなど、**地域の特色を活かすことで周辺地域のコンセプトとして根付く**のではないかと。正式な駅名ではなく、あくまで通称使用で看板やマスの表記、バス停名称などソフトな部分で**希望する各自治体がそれぞれの地域の特色を内外に根付かせる**ことが出来るのではないかと考えますが所見は？



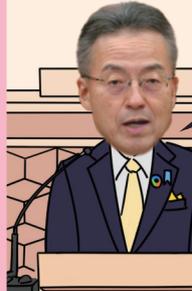
●子育てや介護、仕事と家庭の両立のための家事支援

県内の子育て支援の課題、今後力を入れていくポイントについて知事から「**お金がかかること、時間がないこと、体力がきついことなどの声が多いので何とか取り除いていかなければいけない**」との決意が述べられました。
現在、県では働く女性を対象に家事代行サービスの利用状況調査を実施されているが、**子育てや介護、仕事と家庭の両立など各分野で頑張っている県民を応援**するために家事代行サービスの積極的な利用促進と支援策に取り組んではいかか？



各駅の名称は、地域の文化や伝統であるとか、産業を表す非常にPR効果の高いものだとして認識している。全国的にも多くはないけれど、千葉県の上野駅は「ときめき梨の里」という千葉の特産品に因んだ名前、鳥取県では水木しげるさんのご出身ということもあって、「ゲゲゲの鬼太郎」の色々なキャラクターの名前を付けており地域の発信にも役立っていると認識している。通称の使用については沿線市町のご意見も伺いながら**利用促進協議会やサポーターズクラスにもご相談しながら検討**していきたいと考えている。

<知事>



働く女性の家事の負担というのは非常に大きいと認識している。福井県では、**共家事（トモカジ）という活動を広げよう**としている。その他に核家族化が進んでいるので、おじいちゃん・おばあちゃんが家にいないことも多いため、どうしても手が足りないときには家事を外部化するのには重要なと考えている。現在、家事代行サービスを使ってみるというモニタの募集をさせていただいてアンケートを採らせていただくので、結果を見てサービスのバリエーションが広がることは自由度が上がって子育てもしやすくなることからアンケートも参考にしながら、**県内での家事代行サービスが広がるように支援**していきたいと考えている。

<知事>

質疑の様子はYoutubeにて、公開されております。

福井県議会録画中継

検索



12月定例会
一般質問
◀こちらから

鯖江を元気に！福井を元気に！福井県議会で奮闘中！！

議会活動報告

○まちづくりに関わる若者と意見交換

広報会議でまちづくりに取り組んでいる若者（高校生、大学生、社会人）と意見交換を行い日頃の活動や新幹線開業後の活性化等について話題になりました。



○高校生県議会

高校生県議会において三国高校チームの担当議員として、「出会いと結婚応援」について議論を交わし議会質問に繋げました。



委員会活動報告

○本会議における 委員長報告

土木警察常任委員長として委員会における審査の結果を報告。



○土木警察常任委員会県外視察

交通事故防止対策について豊田市の「ジコゼロ大作戦」の取り組みと大規模土石流災害が発生した熱海市において盛土対策について視察。現在は県内の盛土の規制区域指定のための調査を実施。



議員連盟活動報告

○こどもの明るい未来推進議員連盟

子育て環境の充実、充実した学びの環境など全ての子どもが安心して生活し夢を持ってチャレンジできる子育て日本一を目指して活動する議員連盟を発起人として設立。



○内水面漁業振興議員連盟

大雨災害等で被害を受けた河川の復旧、漁業環境の改善等について内水面漁業組合連合会と国交省に対する合同要望活動。



議員活動報告

福井県に対して鯖江市の重点課題に対応する為の要望と意見交換。



●県政に関するご意見・ご要望はお気軽にご連絡下さい。

福井県議会議員山本建事務所

〒916-0004

福井県鯖江市糺町 25-12-2 糺野ビル 2階

TEL : 0778-52-2533 / FAX : 0778-52-2534

E-mail : info@yamamotoken.jp

